

令和6年度  
事業報告書

- (1) 学校目標
- (2) 教学改革計画
- (3) 学生募集対策
- (4) 外部資金獲得
- (5) 人事政策
- (6) 経費抑制計画
- (7) 施設設備整備計画
- (8) その他

専門学校武蔵野ファッションカレッジ

## (1) 学校目標

### ①学校スローガン

その先の未来を創る

— 心から楽しもう 全てやりきろう —

声を大にして自慢できる専門学校武蔵野ファッションカレッジらしさを確立する。

武蔵野らしさとは

- ・お互い協力しあいながら、生き生き仕事ができる学校 の中で
- ・常に新しいことにチャレンジし、自らが成長し続ける教員 がいて
- ・「好き」を現実なものにでき、学校に対する満足度の高い学生 がいる事である。

ひとりひとりがその先の未来を想像し、同じ目標に向かい心から楽しんで現状に立ち向かいやりきることで、学生数を増やすという目標の達成を目指す。

スローガンに基づいた学校運営がされている。

### ②目標達成のための優先課題と活動概要

#### a. 教学改革計画

1人1人との距離感を大切にしながら、教員と学生の距離の近い親切的な指導を行い、学生の学校満足度向上を図ることができた。イベント行事ごとに委員会を設け学生中心に運営していく体制が行えている。これらの行事は学年、学科を超えて交流が持っており、学生はもとより教員との距離を縮めることができ、笑顔が溢れ、学生満足度の向上に繋がっている。既存の授業以外に、アパレル業界で現在活躍している各職種のスペシャリストを招き、現場を知る特別授業を行った。ファッション業界で働く意識強化を図ることができ、就職率向上につなげることができた。また、企業と連携し特別授業の中で自由な発想からの作品を仕上げることができ、更に作品を撮影した画像を本にまとめたことは1人1人が達成感を味わえる実践教育となった。また昨年に引き続きハレザ池袋にてファッションショーを開催。地域との関わりや学校宣伝に大きく貢献できたと考える。

#### b. 学生募集対策

入学者増加を目指し、教員が積極的広報活動を行った。若手教員を中心としたInstagramにおける、学生の日常がわかる授業紹介やイベント紹介を継続し、広く本校の知名度を上げていくことができた。更に前年同様広報部と情報を共有し、教員全体で積極的にガイダンス対応を行った。

体験入学は接客を学ぶ実体験型授業として、学生が単位取得できる選択授業としている。在校生が本校の魅力を最大限に高校生へ伝えられるよう効果的な学生スタッフ運営を充実させることができた。学生と協力しあい運営している体験入学は高校生や保護者からの評判が良い。体験実習内容を常に更新し、時代をとらえ高校生に興味を持たせる企画内容を提案することができ、参加人数増加につなげることができた。

#### c. 人事政策

学生数が多い授業に補助教員を増やし負担軽減を図った。学生の作品集を制作することができ成果があったが、業務負担を分散できるような体制を構築するには至らなかったが有給休暇取得日数を増やすことができた。次年度も教員同士協力し合い業務運営の見直しを継続していく。

#### d. 経営削減計画

**外部委託経費の削減を継続。**入学案内パンフレットや体験入学のリーフレット、など多数のことを外部委託せず、教員が制作し経費削減に努めることができている。同時に行事運営費用を最小限にし、経費削減努力を継続できている。

## (2) 教学改革計画

### ①中期計画に基づく実施計画

学校の強みとする項目を具体的に目に見えるものにすることを継続する。

#### a. 教員と学生の距離の近い親切的な指導

1人1人との距離感を大切にしながら、教員と学生の距離の近い親切的な指導を行い、学生の学校満足度向上を図ることができた。

教員と学生、上級生と下級生の距離を縮め学内を活性化するため授業以外の学校行事を推進することができた。サポート課がイベント行事ごとに委員会を設け学生中心に運営していく体制が行えている。これらの行事は学年、学科を超えて交流が持っており、学生はもとより教員との距離を縮めることができ、笑顔が溢れ、学生満足度の向上に繋がっている。既存の授業以外に、アパレル業界で活躍する若手のデザイナーやEC担当、アパレル企業を経て独立をしたデザイナーやスタイリストを講師招き、様々な現場を知る授業を行った。ファッション業界で働く意識強化を図ることができ、就職率向上につなげることができた。

また卒業生を招き、学生に対し身近な社会人として新たな緊張感や学習意欲を持たせる授業を行うことができた。また在校生だけではなく、卒業生の成長も感じることができた。

#### b. 特色としている授業の強化

##### (企業・業界と連携した特色づくり)

企業と連携し、特別授業の中で自由な発想からの作品を仕上げることができた。学習目標が明確となり製作物のクオリティーが増すとともに、作品を撮影し一冊の本にできたことで、1人1人が達成感を味わえる実践教育となった。

また昨年に引き続きハレザ池袋にてファッションショーを開催。大型ヴィジョンでの開催告知や当日のショー開催に向け、学校全体で企業と協力し積極的に取り組んだ。この取り組みを通して学生一人一人が大きな達成感を得ることができた。地域との関わりや学校宣伝に大きく貢献できたと考える。調理師学校にご協力頂くことができ、学園としての成果にも繋がった。

#### c. 技術の継承

専門学校武蔵野ファッションカレッジとしての軸となる製図方法(パターン)を確定し、技術を継承するための検討を重ねているが、カリキュラム内容の充実を進めていることから検討のみに留まっている。

#### d. 卒業生とのつながり

第2回同窓会を開催した。同窓会后、懇親会を行い卒業生ならではの率直な意見を頂くことができた。同窓会の運営に関してはこれからの大きな課題ではあるが、参加人数が年々増えていることは目覚ましい成長ととらえる。学校情報を定期的にお知らせしていくことを継続していく。

#### e. ワークショップ運営

他分野の学校がある後藤学園で学べる楽しさを広め、学園内の交流を深めるため高大でのワークショップを開催した。制作を通じて学園内の交流につながった。

### ②カリキュラム改革等

現在のカリキュラム・授業内容を把握し、時代に即した実践教育が行えるよう、現場教員の意見を積極的に取り入れる環境を整える。

#### a. カリキュラム会議の定期開催

現状授業について教員同士が意見交換することで教育内容を共有し、良い教育指導環境を構築するため、カリキュラムスケジュールをもとに、現場教員間で今年度の反省と次年度に向けての改善等活発に意見交換のできる会議を開いた。しかし各教員担当業務過多により会議の時間を調整することが難しく、定期的には行えなかったのが現状である。

#### b. 特色としている授業の強化

本学の教育の特色である期間限定ショップ【インキュベート】は、昨年からの出店場所移動により学生の意欲向上がみられた。担当教員は授業計画以外に販売戦略にも力を入れており、かなり実践的な教育に繋がっている。

【インキュベートコレクション】ではショー運営を委員会主体としたことで運営スタッフと直接かかわることができ、学生の意欲増進に繋げることができている。本学ならではの特色を持ったコレクションを発表できる場に至った。【卒業制作—総合学園祭—】では、各学科学年において学習成果発表を行うことができた。展示、ファッションショー、インスタレーションなど様々な方法で発表し、多数の保護者の方にご覧いただく良い機会となった。

### ③キャリア支援・就職支援

現状における企業の情報を把握し、就職指導の強化を図ることで、就職率を上げることに繋げることができた。

**a. 授業での就職指導強化**

リクルートの授業を、アパレル企業で人事担当のキャリアを持つ教員が担当することで就職に対する実践的教育を実施できた。更に担任が就職に関しての個別指導を密に行い就職内定に繋がられた。募集エージェントとの連携で学生の就職に対する意識向上を図る。

**b. 就職支援体制の整備**

適切な情報提供の場として学内企業説明会を実施し、就職活動の滞る学生へ支援を行った。またクラス担任だけではなく学校全体で就職支援を行う体制を整え、1人1人と向き合う就職指導ができています。

**c. 業界と連携した就職支援**

学内説明会を行うなど業界との連携少しずつ進んでいる。

**d. 卒業生との連携**

卒業後の学生が仕事の報告や転職への相談など、来校する卒業生が増えてきている。更に教員が卒業生の仕事場を訪れ、成長を知るなど繋がりを絶やさないよう支援体制をとっている。

**④学生支援・中途退学対策**

1人1人との距離感を大切にしながら、教員と学生の距離の近い親切的な指導を行う。

**a. 授業アンケートの有効活用**

有効なアンケート活用を行っている。

**b. 組織的対応力を強化し中途退学者の抑制**

クラス担任を軸に学校カウンセラーとの面談を取り入れるなど、学生支援に力を入れた。補助となる教員を増やしたが思うように進むことができなかった。次年度への対策を強化する。

**c. 学費未納学生への支援**

奨学金や授業料無償化制度で得た学費の適切な利用を指導した。

担当教員を置き学生が相談できる窓口を設置したことで滞納等の抑制は図れた。

### (3) 学生募集対策

#### ① 中期計画に基づく実施計画

入学者増加を目指し、広報活動を積極的に行っていくことが重要である。

入学者増加を目指し、教員が積極的広報活動を行った。

##### a. SNSなどを駆使したプロモーション、教育の視覚化

広報部と連携し出願対象者が情報収集として使うSNSの宣伝活動に力を入れ、若手教員を中心としたInstagramにおける、学生の日常がわかる授業紹介やイベント紹介を継続し、広く本校の知名度を上げていくことができた。本学の入学案内パンフレット・体験入学リーフレットを教員が製作しており、高校生からの高評価を得る事が出来ている。広報部が積極的に授業風景やイベント等の写真撮影をしてくれたことで入学案内パンフレットの宣材写真を増やすことができています。

##### b. ファッション館再構築

学生数の増加に伴い使用教室の改善を行った。教室内の設備も整えたことで学科の特色を出すことができた、

#### ② 体験入学・学校説明会等

学校ガイダンス、模擬授業への積極的参加と体験入学や説明会の運営充実を図る。

##### a. 教員のガイダンス派遣強化

前年同様広報部と情報を共有し、教員全体で積極的にガイダンス対応を行った。高校へ教員を派遣できるよう学内で協力をする体制を整え、広報部からの派遣回数も増やした。高校における単独の出張授業も継続することができた。ガイダンスの成果が体験入学の来校者数増加に繋がっていると考えます。ガイダンス後の教員内での情報共有を継続していることで情報量が増えていることも大きな成果である。しかし、学生数増加により教員派遣が難しくなっており、広報部の協力がかなり必要になると考える。

##### b. 高等学校との信頼関係構築

高校へ直接出向き行う出張授業は、家庭科教員にはできない専門的な内容を高校生が体験でき、それによって高校生のやる気がアップし高校教員と信頼関係を構築することができたと考えます。出張授業のできる教員を育成することができた。

**c. 体験入学運営の充実**

体験入学は接客を学ぶ実体験型授業として、学生が単位取得できる選択授業としている。アパレル企業にて新人教育を行っていた教員のスキルを活かし、在校生が本校の魅力を最大限に高校生へ伝えられるよう効果的な学生スタッフ運営を充実させることができた。学生と協力しあい運営している体験入学は高校生や保護者からの評判が良い。体験実習内容を常に更新し、時代をとらえ高校生に興味を持たせる企画内容を提案することができ、参加人数増加につなげることができた。

## (4) 外部資金獲得

### ① 中期計画に基づく実施計画

学内設備や教員の能力を生かした収益事業の促進

#### a. 学内ワークショップ開催

収益には至らないが学内交流の地固めを継続した。

#### b. 夏休み自由研究のワークショップ開催

学外への収益事業は現段階では困難なため、今年度も見送った。

## (5) 人事政策

### ① 中期計画に基づく実施計画

居心地の良い学校、職場の確立を目指す

管理職教員をクラス担任業務からはずし、業務運営を見直すよう配置転換を行ったが、初年度ということもあり期待していた結果を得ることができなかった。

次年度も教員同士協力し合い業務運営の見直しを継続していく。

### ② 組織編制・要員計画

学生数が多い授業に補助教員を増やし負担軽減を図った。学生の作品集を制作することができ成果があった。業務負担を分散できるよう体制を構築するには至らなかったが有給休暇取得日数を増やすことができた。事務職員の必要性を感じている。

### ③ 教職員研修・能力開発

若手教員を外部研修に参加させ、検定試験合格に至った。

若手教員にガイダンスや模擬授業、体験入学講師を経験させることができた。

## (6) 経費削減計画

### ①中期計画に基づく実施計画

赤字要因を含む的確な分析をおこない更なる経費抑制計画を立てる。

#### a. 外部委託経費の削減

入学案内パンフレットや体験入学のリーフレット、卒業アルバム、卒業VDなど外部委託せず、教員が製作し経費削減に努めることができています。

#### b. 教材費改善・見直し

物価高騰により難はあるが、適切な使用をしていく努力をすることができた。

#### c. 行事運営費用の見直し

行事運営費用を最小限にすることができた。

#### d. 保守点検費用の削減

ミシンのメンテナンスを教員が一部分行うことで業者への依頼台数を削減した。

## (7) 施設設備整備計画

### ①中期計画に基づく実施計画

校舎を中心とした安心安全な環境整備を目指す。

### ②その他の取り組み

#### a. 教室内修繕

体験入学会場となる教室内壁の塗り替え工事、全館LEDへの移行工事を行った。  
学生数増加による教室設置工事を行った。

## (8) その他

### ①社会貢献・地域貢献活動

#### a. 池袋での作品紹介

池袋にある商業施設とのコラボ事業の推進を図り、アートの街豊島区でのファッションショーを開催した。

### ②その他の取り組み

#### a. セクハラ改善計画

多様性が広く社会で認知され、尊重される時代。一人一人の学生に目を向けなければならぬ今こそ今回のアンケート結果を真摯に受け止める必要がある。しかし、それぞれの立ち位置によって思いや感じ方が違うのも事実であり、それを踏まえ客観的に対応できる体制づくりに取り組んだ。